

2021年3月

経済・マネジメント学群入学予定の皆さんへ

『入学前教育』のご案内

高知工科大学経済・マネジメント学群への合格おめでとうございます。

本学群では、これから経済やマネジメントを学んでいただくにあたり、基礎力を高める「入学前教育プログラム」を実施しています。経済やマネジメントに必要な社会科学の基礎知識を学習し、4月からの大学生活を有意義に過ごしていただきたいと願っています。

皆さんの興味に応じて課題を選択できるように、専攻ごとに推薦図書（別紙参照）を用意しました。関心があるものを1つ以上選び、入学前に読んでください。ただし、将来進む専攻をこの時点で決めるものではありません。現在関心があるものを自由に選んで下さい。

次の注意点をよく読み、入学前教育の主旨を理解しておいて下さい。

<注意点>

1. 必ず1冊は読んでください。
2. 必ず別紙に記載の**事前課題**を行ってください。
3. 課題の提出方法は入学後にお知らせします。
4. 書籍代は自己負担です。書籍購入については書店だけでなく、アマゾンなどの通販サイトも利用してください。Kindleなどの電子書籍で読めるものもあります。大学には在庫がありませんのでご了承ください。

以上

入学前教育についてご不明な点がありましたら、以下までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
高知工科大学 経済・マネジメント学群事務室
088-821-7157

推薦図書リスト

以下の7冊の図書を推薦いたします。『入学前教育』のご案内をよく読み図書を選んで下さい。

1. 企業・起業マネジメント専攻

イノベーションのジレンマ 増補改訂版 (Harvard Business School Press) (日本語)
2001年 ISBN13 : 978-4798100234 出版社 : 翔泳社

推薦文

業界を席卷する巨大な企業が、完成度の高い企業戦略を立てるがゆえにむしろ自滅していく、といったジレンマの図式を分析し、既存事業を衰退させる可能性を持つ破壊的イノベーションに対して、経営者はどう対処すべきかが語られています。企業という実態の掴み辛い組織を理解し、その成長と衰退について批判的に検討するための論理を学んでください。

2. スポーツマネジメント専攻

池田純 (2017) 『常識の超え方～35歳球団社長の経営メソッド』文藝春秋.

推薦文

著者である池田氏は、35歳の若さで、2011年12月に誕生したプロ野球球団「横浜DeNAベイスターズ」の社長に就任しました。当時のベイスターズは、売上52億円で24億円もの赤字を抱えていました。しかし池田氏は経営手腕を発揮して、5年後の2016年には売上100億円超、5億円超の黒字を出せる球団へと「変化」させたのでした。横浜DeNAベイスターズをよみがえらせた池田氏の経営手法とはどのようなものか、なぜ池田氏が成功できたのだろうか、そして、(野球に限らず、サッカー、バレーボールなど様々な球団がありますが)球団を運営するうえで大切なことは何だろうかといった点を読書ポイントにして、スポーツビジネスとはどのようなものかについて味わってほしいと思います。

また、本の終盤には、大学スポーツをはじめ池田氏のスポーツ界に対する考え方についても書かれています。今後のスポーツビジネスをみるうえで参考にしてください。

3. 国際経済マネジメント専攻

榊原 英資 (2009) 『君達は何のために学ぶのか』文藝春秋.

推薦文

現代はグローバルマーケットの下で個人・社会・国がお互いに競争・共創しています。こうした時代をより良く生きるために、何故これから大学で学び、何故「国際共通言語の英語」を学ぶ必要があるのでしょうか。こうした疑問に対する答えを「世界各国の政治家やテクノクラートから“Mr.円”と呼ばれ、畏敬された男、榊原英資」が若

者に向けて分かりやすく説明します。私も大学入学前にこの本を読みたかった！！簡単に読める本ですが、そこには真実が書いていると思います。楽しんで頂ければ幸いです。

4. 数理経済マネジメント専攻

カイザー・ファング（著）矢羽野薫（訳）(2015)『ナンバーセンス ビッグデータの嘘を見抜く「統計リテラシー」の身につけ方』CCC メディアハウス。

推薦文

ビッグデータのビジネスでの活用が進む中、データ分析の正しさを嗅ぎ分けるための「第六感」の重要性を説いた本です。航空会社A・Bは共通する5空港を発着しています。どの空港でも、年間の出発遅延率の低さではA社がB社より優れています（遅延率が低い）。それにもかかわらず、会社毎の遅延率では、B社がA社よりも優れていることが分かりました。なぜこんなことが起こるのでしょうか？業務改善をしなければならないのは、どちらの会社でしょうか？このような具体例を通じて、第六感の重要性を理解しておけば、大学に入ってから統計学等の勉強が、より楽しく意義深いものになるでしょう。最後に、自分なりに考察してもらいたいポイントを書いております。第5章「なぜマーケティングは矛盾したメッセージを送るのか？」を読み、企業がビッグデータを活用して人々の消費行動を予測する場合、その予測の精度はどの程度なのか？また、企業にとっては、どのくらいのお金かけて、どの程度の精度を実現すれば、ビッグデータによる予測が経営上有益なものとなり得るのか？これらの点について、考えてみてください。

5. 地域・行政システム専攻

童門冬二(1990)『上杉鷹山の経営学—危機を乗り切るリーダーの条件』PHP 研究所。

推薦文

組織の課題を解決するリーダーの在り方を教えてくれる。上杉鷹山は弱小の米沢藩の藩主であるが、養子でもあった。名門上杉家がお国替えで移った米沢藩は、名門であるが故に多くの武士を抱えていたが、小さい藩では養えない規模であった。加えて米沢藩は見るべき特産品も無く貧しかった。この様な困難な状況の中で、リーダーシップを発揮し、如何に藩政改革を成し遂げ、如何に地域経済を活性させたかを学んでください。

6. 経済政策専攻

中室牧子(2015)『「学力」の経済学』ディスカヴァー・トゥエンティワン。

推薦文

みんな教育を受けたことがあるので、教育については自分の意見を言いたがる人が多い。しかしながら、一人の人間が体験できることがどれだけあるだろうか。他人の体験談がどれだけ自分に当てはまるだろうか。教育の真の効果を測るためには、個人

の体験を何千、何万、何十万と集めた大規模なデータを分析する必要がある。本書は、効果的な教育政策や教授方法について科学的根拠（エビデンス）を用いて明らかにする、教育経済学の入門書である。

これまで12年間学んできて、そしてこれからもう4年学ぶことになる皆さんにぜひ読んでほしい良書です。

7. 人間行動専攻

中谷内一也 (2015) 『信頼学の教室』 講談社現代新書.

推薦文

経済・マネジメント学群の人間行動専攻では社会心理学や社会生物学などを駆使し、社会と個人の相互関係を分析します。社会と個人をつなぐひとつの鍵が「信頼」です。私たちは他人を信頼することで、あるいは他人から信頼されることで、社会を維持・構築することができます。では、私たちは一体どうすれば他者を信頼し、他者から信頼されることができるのでしょうか。この本ではまず、社会心理学や生物学の研究から「信頼とは何か」を考え、解き明かしていきます。さらに、**Academy of Management Review** や **American Economic Review** など、マネジメントや経済学の論文も引用しながら信頼の問題を考えています。つまり、信頼とはマネジメントや経済学においても重要なトピックなのです。日常用語でもある「信頼」を学問的に研究するとはどういうことなのかを理解しつつ、「友達に信頼されるために」「組織の一員として信頼関係を構築するために」「組織のトップとして、信頼される企業をつくるために」どうしたらいいか、考えてみてください。

以上

入学前教育 事前課題

| | | | |
|-----|--|------|--|
| 氏名 | | 学籍番号 | |
| 図書名 | | | |

<目的>

- 大学での学びに必要な基礎力をつける。

課題 1 : 筆者が一番伝えたいことは何かを記述する

課題 2 : 本を読んで、印象に残ったこと（気づき、共感、違和感など） および、その理由を記述する

(注) 本用紙をプリントアウトして使用してください。文字数や形式については、自由です。肉筆でもパソコンでタイプしても構いません。プリントアウトするのが困難な場合は、上の様式に似たものを自分で作成してください。